

第 437 回: 爾の研究

当社に中国株口座を開いている友人と一盞傾けたときのこと、当社が取り扱っている深セン A 株の話題になった。彼が指摘したのは、銘柄の呼称問題で、当社のレポートにはこう表記されている。

歌爾(かじ) 深セン A 株 002241

2001 年設立の民営企業。スマートフォンなど向けのミニチュアマイクロフォンで世界最大手…以下略。

友人がおかしいのではと感じたのは、「せっかく業界で浸透しつつある【ゴーテック】というブランド名があり、日本法人も『GoerTek Technology Japan 株式会社』と名乗っているのに、どうしてわざわざ中国語の漢字を日本語で音読みするの？」と云うことだ。

それに対し筆者は、これボクの仕事ではないと断りつつ「当社の銘柄呼称は、中国建設銀行や中国石油はそのまま漢字で表記し、一方騰訊 HD は「テンセント」と英語表記するなどケースバイケース、それに歌爾も「ゴーテック」と呼称することもあるよ」と説明したのだが、彼の追求は厳しく、「もしおたくの営業マンから『深セン株の【かじ】は如何ですか』と勧誘の電話が掛かってきたら、おれは『【かじ】って漢字でどう書くの?』と聞き返すけど、営業マンは「爾」という漢字を説明できるの?」と切り返してきた。

たしかに、彼が「読めもしない漢字を使って、恥をかくのはどっちだ?」と云うのはごもつとも。

筆者くらいの老兵になれば、「爾」という漢字に「なんじ」、「しかり」、「のみ」などの読み方があることくらいは知っているが、たしかに最近使われることの極めて少ない漢字である。

「爾」は常用漢字ではないが人名には使える「人名用漢字」で、漢字検定準一級で覚える字だそうだ。

たしかに人名の「爾」は、「男」や「郎」、「子」ほど多くはないが、ときどき見かけることがある。

「爾」のつく有名人といえば、帝國陸軍の天才とも異端児と呼ばれた石原莞爾中将。関東軍作戦主任参謀として満州に赴任し、1931 年に板垣征四郎と組んで満州事変を実行し、20 数万人の張学良軍を、僅か 2 万弱の関東軍でもって一気に駆逐し、満州を占領した人物だ。

陸軍強硬派の軍人と見られてきた人物だが、二・二六事件では参謀本部作戦課長として、鎮圧の先頭に立ち、のちに昭和天皇が「一体石原といふ人間はどんな人間なのか、よく分からない、満州事件の張本人でありながら、この時の態度は正当なものであった」と述懐されているように、ナゾの多い人物だったようだ。

因みに、世界のマエストロ小沢征爾は、彼の父親が尊敬する板垣征四郎と石原莞爾から、各一字貰って命名したものである。

小説家では女優・藤真利子の父親藤原審爾、学者では美術史の高階秀爾が有名、受験勉強では日本に漢字を伝えた百済の五経博士・段楊爾を習ったが、読みは「だんように」と覚えた記憶がある。

爾は地名にも使われることがあり、これも古い呼称だが、国名で伯刺西爾(ブラジル)、亜爾然丁(アルゼンチン)、都市名では中国黒龍省の省都・哈爾濱(ハルビン)。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

地名、人名以外で「爾」が多用される例は、「その後」を格調高く表現する爾来、爾後だと思うが、当社のお客さまはご存じでも、うちの若い営業マンが知っている可能性はかなり低いのでは。

「爾」の古い用法としては、他に「失礼ですが」を上品に表現した「卒爾」という単語が思い浮かぶ。

戦前の独仏両国に俳優女優と言語を変えて、ドイツ語版とフランス語版が同時制作された、「別れの曲」という名画があった。

ときは19世紀初頭、ロシア帝国の圧政に対し独立の機運が高まるポーランド、ここで天才音楽家ショパンが恋と革命のはざままで苦しむロマンチックな映画であるが、これを輸入した日本の映画会社が「卒爾ながら、ショパン殿では御座らぬか」と、典雅な字幕を付けた有名な例がある。

もっとも、当時のスーパー字幕の職人たちは、観客の英語聞き取り能力なんて完全に無視して戯作調の字幕をつくっては楽しんでいたらしく、西部劇で絞首刑を執行する役人がしくじったとき「とんだ首切り浅衛門だ」という字幕を流し、観客をアツといわせた例もあるという。

「爾」は「なんじ」とも読み、乃木希典大将が詠んだ漢詩にも登場する。

爾靈山嶮豈難攀（爾靈山の嶮、あに攀じ難からんや）

男子功名期克艱（男子功名、克艱を期す）

鉄血覆山山形改（鉄血山を覆いて、山形改まる）

万人齊仰爾靈山（万人齊しく仰ぐ爾靈山）

日露戦争で乃木將軍率いる第三軍が旅順攻略で悪戦苦闘し、最後に203高地に攻撃の焦点を絞り、夥しい犠牲を払って漸く要塞を攻略するのだが、乃木大将は戦後、鎮魂の思いを込めて、203高地を「爾靈山（にれいさん）」と詠んだ。

「爾」に関しつもらぬウンチクを傾けてしまったが、結論として「爾」は「小沢征爾」の「爾」と説明するのが最も分かりやすいだろう。

それでも「爾」が思い出してもらえないときは「一」、「ハ」、「冂」、縦を書いて、左の「爻」、右の「爻」と説明するしかないが、これはお客様に喧嘩を売るようなものだから、お勧めできない。（了）

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成30年1月22日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

